

コスプレーヤーで賑わった洞爺湖温泉 「洞爺コスパ！2011」開く

「洞爺コスパ！2011」
(ToYa KOプロジェクト主催)が、
昨年引き続き11



盛り上がったコスプレダンスパーティー

月29日洞爺湖文化センターで開かれ、同センターの周りでは、思い思いのキャラクターに扮したコスプレーヤーで賑わいました。

会場では、コスプレ初心者講習会や〇×クイズ、アニメソングコスプレ大会など多彩な企画が用意され、大いに盛り上がっていました。

参加者らは、来年6月洞爺湖温泉で開催されるTOYAKOマンガ・アニメフェスタでの再会を約束していました。

洞爺地区の往時を語る「三樹は語るパート2」(洞爺湖芸術館友の会主催=佐藤安弘会長)が、昨年引き続き、11月3日同館で開かれ、約20人が参加し、旧洞爺村の昔ばなしに花を咲かせました。

スライド上映のほか、昨年から制作している「昭和30年代の洞爺の街並み」地図、昭和39年の洞爺村商工会連合会の初売りの旗などを見ながらさまざまな意見が飛び出しました。

劇場や映画館の話から「呉服屋2軒、蹄鉄屋、お菓子屋

3軒」など賑わいのあった当時の話など、話はつきませんでした。



昔話に花を咲かせる参加者ら

洞爺の往時の話尽きず 「三樹は語るパート2」開く

創立60周年を迎えた洞爺高校(佐々木淑子校長)は、11月5日、記念講演会を洞爺総合センターで開き、参加した生徒や来賓、町民ら約100人が、同高の節目を祝いました。

基調講演は、ウィンザーホテル洞爺あらし山吉兆の大河原憲治料理長。演題は、「人と人 心と心 ~食育を通じて~」。

講演では、「料理の基本は、お客さんへのおもいやり」と技術的なことと同様に、おもてなしの心の重要性について言及し、「おいしい洞爺の野菜のように、自分自身を磨き味のある人間になってください」と生徒らを激励しました。



創立60周年を祝う記念講演会

料理の基本はおもてなしの心 洞爺高校創立60周年記念講演会

湖畔の空に風船飛ばし思い出づくり 修学旅行で訪れた大分県の高校生ら

11月15日、大分県の私立明豊高校(原尻正信校長)2年生110人が、修

学旅行で洞爺湖を訪れ、自分の夢を書いた短冊を風船にくくりつけ、湖畔の空に放ちました。

原尻校長が「北海道での良い思い出」にと、前任校から継続してきた試みです。

生徒らは、「甲子園出場」など自分の願いを書いた短冊を、赤や黄色などの風船に結びつけ、遊覧船乗り場横の芝生から一斉に空へ飛ばしました。風船や短冊は天然素材で、土に分解されるものを使用しています。



修学旅行の思い出に洞爺湖の空に風船を放つ大分県の高校生

まちのわだい